

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		琉球大学		設置者名		国立大学法人琉球大学		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成21年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
法文学部	総合社会システム学科 昼間主コース	170人	中一種免(社会)	平成12年度	178人	9人	1人	0人
			高一種免(公民)	平成12年度			8人	
	総合社会システム学科 夜間主コース	30人	中一種免(社会)	平成12年度	56人	1人	0人	0人
			高一種免(公民)	平成12年度			1人	
	人間科学科	95人	中一種免(社会)	平成16年度	95人	5人	1人	0人
			高一種免(地理歴史)	平成16年度			1人	
			高一種免(公民)	平成16年度			4人	
			高一種免(福祉)	平成16年度			0人	
	国際言語文化学科 昼間主コース	80人	中一種免(国語)	平成12年度	83人	21人	5人	0人
			中一種免(英語)	平成12年度			5人	
			高一種免(国語)	平成12年度			8人	
			高一種免(英語)	平成12年度			13人	
国際言語文化学科 夜間主コース	30人	中一種免(英語)	平成12年度	26人	6人	1人	0人	
		高一種免(英語)	平成12年度			6人		
観光産業科学部	産業経営学科 昼間主コース	60人	高一種免(商業)	平成20年度				
	産業経営学科 夜間主コース	20人	高一種免(商業)	平成20年度				
教育学部	学校教育教員養成課程	100人	幼一種免	平成11年度	94人	94人	27人	46人
			小一種免	平成11年度			66人	
			中一種免(国語)	平成11年度			9人	
			中一種免(社会)	平成11年度			6人	
			中一種免(数学)	平成11年度			6人	
			中一種免(理科)	平成11年度			7人	
			中一種免(音楽)	平成11年度			6人	
			中一種免(美術)	平成11年度			8人	
			中一種免(保健体育)	平成11年度			5人	
			中一種免(技術)	平成11年度			4人	
			中一種免(家庭)	平成11年度			5人	
			中一種免(英語)	平成11年度			7人	
			高一種免(国語)	平成11年度			9人	
			高一種免(地理歴史)	平成11年度			3人	
			高一種免(公民)	平成11年度			2人	
			高一種免(数学)	平成11年度			5人	
			高一種免(理科)	平成11年度			7人	
			高一種免(音楽)	平成11年度			6人	
			高一種免(美術)	平成11年度			6人	
			高一種免(保健体育)	平成11年度			6人	
			高一種免(家庭)	平成11年度			6人	
			高一種免(工業)	平成11年度			3人	
			高一種免(英語)	平成11年度			7人	
			高一種免(工芸)	平成21年度				
			特支一種免(知・肢・病)	平成19年度			13人	
			生涯教育課程	90人			中一種免(理科)	
	中一種免(保健体育)	平成17年度					2人	
中一種免(社会)	平成21年度							

			高一種免(理科)	平成17年度	78人	60人	5人	16人
			高一種免(保健体育)	平成17年度			1人	
			高一種免(公民)	平成21年度				
			高一種免(地理歴史)	平成21年度				
			栄教一種免	平成17年度			9人	
理学部	数理科学科	40人	中一種免(数学)	平成12年度	30人	21人	17人	3人
			高一種免(数学)	平成12年度			21人	
	物質地球科学科	65人	中一種免(理科)	平成12年度	59人	15人	5人	0人
			高一種免(理科)	平成12年度			15人	
	海洋自然科学科	95人	中一種免(理科)	平成12年度	85人	11人	3人	3人
			高一種免(理科)	平成12年度			11人	
医学部	保健学科	60人	養教一種免	平成12年度	59人	6人	6人	1人
工学部	機械システム工学科 昼間主コース	90人	高一種免(工業)	平成12年度	85人	19人	19人	0人
			高一種免(工業)	平成12年度			2人	
	機械システム工学科 夜間主コース	20人	高一種免(工業)	平成12年度	15人	2人	2人	0人
	環境建設工学科	90人	高一種免(工業)	平成12年度	81人	0人	0人	0人
	電気電子工学科 昼間主コース	80人	高一種免(工業)	平成12年度	70人	5人	5人	0人
			高一種免(工業)	平成12年度			2人	
	電気電子工学科 夜間主コース	10人	高一種免(工業)	平成12年度	11人	2人	2人	0人
情報工学科	60人	高一種免(情報)	平成13年度	55人	1人	1人	0人	
農学部	亜熱帯地域農学科	35人	高一種免(農業)	平成21年度				
	亜熱帯農林環境科学科	35人	高一種免(農業)	平成21年度				
	地域農業工学科	25人	高一種免(農業)	平成21年度				
	亜熱帯生物資源科学科	35人	高一種免(農業)	平成21年度				
入学定員合計		1,415人	合計		1,160人	278人	410人	69人
大学名	琉球大学(大学院)			設置者名	国立大学法人琉球大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況(平成21年度)			
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
						実数	個別	
人文社会科学 研究科	総合社会システム専攻	17人	中専免(社会)	平成13年度	9人	0人	0人	0人
			高専免(公民)	平成13年度			0人	
			高専免(商業)	平成13年度			0人	
	人間科学専攻	16人	中専免(社会)	平成13年度	13人	1人	1人	0人
			高専免(地理歴史)	平成13年度			1人	
			高専免(公民)	平成13年度			0人	
	国際言語文化専攻	12人	中専免(英語)	平成13年度	10人	4人	1人	3人
			中専免(国語)	平成13年度			1人	
			中専免(社会)	平成13年度			0人	
			高専免(英語)	平成13年度			1人	
教育学研究科	学校教育専攻	5人	幼専免	平成2年度	1人	0人	0人	1人
			小専免	平成2年度			0人	
			中専免(英語)	平成2年度			0人	
			中専免(音楽)	平成2年度			0人	
			中専免(家庭)	平成2年度			0人	
			中専免(技術)	平成2年度			0人	
			中専免(国語)	平成2年度			0人	
			中専免(社会)	平成2年度			0人	
			中専免(数学)	平成2年度			0人	
			中専免(美術)	平成2年度			0人	
			中専免(保健体育)	平成2年度			0人	
			中専免(理科)	平成2年度			0人	
高専免(英語)	平成2年度	0人						

		高専免(音楽)	平成2年度			0人	
		高専免(家庭)	平成2年度			0人	
		高専免(公民)	平成6年度			0人	
		高専免(工業)	平成2年度			0人	
		高専免(工芸)	平成2年度			0人	
		高専免(国語)	平成2年度			0人	
		高専免(情報)	平成2年度			0人	
		高専免(数学)	平成2年度			0人	
		高専免(地理歴史)	平成6年度			0人	
		高専免(美術)	平成2年度			0人	
		高専免(保健体育)	平成2年度			0人	
		高専免(理科)	平成2年度			0人	
特別支援教育専攻	3人	特支専免(肢・知・病)	平成19年度	6人	5人	5人	5人
教科教育専攻	24人	幼専免	平成6年度			0人	
		小専免	平成6年度			3人	
		中専免(英語)	平成2年度			0人	
		中専免(音楽)	平成6年度			0人	
		中専免(家庭)	平成2年度			2人	
		中専免(技術)	平成2年度			0人	
		中専免(国語)	平成6年度			0人	
		中専免(社会)	平成8年度			1人	
		中専免(数学)	平成2年度			2人	
		中専免(美術)	平成2年度			0人	
		中専免(保健体育)	平成6年度			2人	
		中専免(理科)	平成8年度			3人	
		高専免(英語)	平成2年度	18人	15人	0人	10人
		高専免(音楽)	平成6年度			0人	
		高専免(家庭)	平成2年度			2人	
		高専免(公民)	平成8年度			1人	
		高専免(工業)	平成2年度			0人	
		高専免(工芸)	平成2年度			0人	
		高専免(国語)	平成6年度			0人	
		高専免(数学)	平成2年度			2人	
		高専免(地理歴史)	平成8年度			1人	
		高専免(美術)	平成2年度			0人	
		高専免(保健体育)	平成6年度			2人	
		高専免(理科)	平成8年度			3人	
臨床心理学専攻	3人	中専免(英語)	平成18年度			0人	
		中専免(音楽)	平成18年度			0人	
		中専免(家庭)	平成18年度			0人	
		中専免(技術)	平成18年度			0人	
		中専免(国語)	平成18年度			0人	
		中専免(社会)	平成18年度			0人	
		中専免(数学)	平成18年度			0人	
		中専免(美術)	平成18年度			0人	
		中専免(保健体育)	平成18年度			0人	
		中専免(理科)	平成18年度			0人	
		高専免(英語)	平成18年度	6人	0人	0人	0人
		高専免(音楽)	平成18年度			0人	
		高専免(家庭)	平成18年度			0人	
		高専免(公民)	平成18年度			0人	
		高専免(工業)	平成18年度			0人	
		高専免(工芸)	平成18年度			0人	
		高専免(国語)	平成18年度			0人	
		高専免(情報)	平成18年度			0人	
		高専免(数学)	平成18年度			0人	
		高専免(地理歴史)	平成18年度			0人	
		高専免(美術)	平成18年度			0人	
		高専免(保健体育)	平成18年度			0人	
		高専免(理科)	平成18年度			0人	
理工学研究科	機械システム工学専攻	22人	高専免(工業)	平成9年度	21人	2人	0人

	環境建設工学専攻	18人	高専免(工業)	平成9年度	16人	0人	0人	0人
	電気電子工学専攻	18人	高専免(工業)	平成9年度	22人	1人	1人	0人
	情報工学専攻	18人	高専免(工業)	平成17年度	9人	2人	2人	0人
	数理学専攻	12人	中専免(数学)	平成10年度	4人	1人	1人	0人
			高専免(数学)	平成10年度			1人	
	物質地球科学専攻	20人	中専免(理科)	平成10年度	16人	2人	0人	0人
			高専免(理科)	平成10年度			2人	
	海洋自然科学専攻	26人	中専免(理科)	平成10年度	27人	1人	1人	0人
			高専免(理科)	平成10年度			1人	
保健学研究科	保健学専攻	10人	養教専免	平成2年度	10人	0人	0人	0人
農学研究科	生物生産学専攻	16人	高専免(農業)	平成7年度	14人	0人	0人	0人
	生産環境学専攻	12人	高専免(農業)	平成7年度	3人	0人	0人	0人
	生物資源科学専攻	12人	高専免(農業)	平成7年度	13人	0人	0人	0人
入学定員合計		264人	合計		218人	34人	48人	19人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成22年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄には各学科等の実人数を、「個別」欄には各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成23年1月12日（水）

実地視察大学：琉球大学

実地視察委員：渋谷治美委員、狩野浩二委員、野村新委員

■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

<状況>

- ・大学においては7学部18学科、大学院においては5研究科18専攻で教員養成を行っている。

<講評>

- ・教員養成に関する教育課程、教員組織等については、全般的に基準を満たして実施されている。

■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

<状況>

- ・建学の精神である「自由平等、寛容平和」を継承・発展させて、「真理の探求」、「地域・国際社会への貢献」、「平和・共生の追求」を大学の基本理念とし、教育的愛情に溢れ、広い教養と教科に関する高度の専門的知識を備えた実践的指導力を即時的に発揮しうる教員の養成を目指している。

<講評>

- ・学部と大学院の教員養成の理念・構想が同じ内容で示されているが、学部と大学院ではそれぞれの教員像を持って取り組むべきであり、こうした教員養成の理念・構想について、全学的な議論を絶えず行ってほしい。

■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

<講評>

- ・「教職に関する科目」のシラバスの一部に、教育職員免許法施行規則に定める科目の趣旨と異なる内容のシラバスが見られた。「教職に関する科目」は、各担当教員の専門性を生かしつつ、施行規則の趣旨はしっかり踏まえて行ってほしい。
- ・このため、施行規則に定める科目の趣旨について、担当教員に再度、周知・徹底し、全学においてシラバスの確認を行ってほしい。

■ 教育実習の取組状況

<状況>

- ・教育学部学校教育教員養成課程の実習については、附属小・中学校で実施し、これ以外の実習については、基本的に学生の出身校で実施している。

- ・出身校での実習に関して、各学部と実習校との連携は今後の課題である。

<講評>

- ・母校実習はできるかぎり避けるようにしてほしい。地域の事情からそれが難しい場合にも、実習校との連携や評価の公平性などの確保に向けて、それに代わる対策を検討し、大学として責任をもって教育実習の指導を行ってほしい。

■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

<状況>

- ・「学校実践ボランティア」を「教科又は教職に関する科目」として位置付け、平成21年度は小学校22校180学級に学生を派遣している。本事業は学生の実行委員会によって企画運営がなされている。
- ・教職実践演習の試行として、平成19年度から「模擬学校（プラクティススクール）」を実施している。プラクティススクールは近隣の小・中学生が参加する大学内に設立する教育機関であり、企画・運営を学生が行うことにより、教員になるために必要な総合的力を身に付けさせることを目指す取り組み。

<講評>

- ・学校ボランティアやプラクティススクールは重要な取り組みであり、担当教員だけの責任とするのではなく、全学で取り組んでほしい。
- ・教育学部以外の学生の参加が減少していることは残念だが、今後の取り組みにも期待したい。

■ 教職指導及びその指導体制の状況

<状況>

- ・履修指導は、学部ごとに指導教員等が行っている。
- ・全学の就職センターにおいて教職志望の学生への指導も行っている。

<講評>

- ・教育学部以外にも教職に向いている学生はおり、こうした学生もきちんと育てていけるよう、指導体制を充実してほしい。
- ・全学の就職センターの取り組みだけではなく、教育学部においても校長経験者等を配置する教職指導のための支援室等を用意し、他学部の学生も含めて教職についての相談等に応じるなど、教職指導についての体制をより一層充実することを検討してほしい。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

- ・教育学部7名、各学部2名ずつの委員で構成する「教員養成運営委員会」をおり、年3～4回の会議を行うとともに、新たな課題についてはこの委員会の下に

ワーキンググループを設けて検討を行っている。

<講評>

- ・教育学部だけではなく、全学の教員養成の理念・構想について議論し、全学の教職課程の運営を責任を持って実施していける組織としてほしい。
- ・また、具体的に活動でき、機能する組織としてほしい。
- ・大学、学校現場、教育委員会が連携して教員養成課程について議論することが求められており、大学から発信し、学校現場から頼りにされる存在となるよう、全学的な組織を中心として、教育委員会との関係を築いてほしい。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<講評>

- ・図書館については、絵本、児童書等が少なく、充実を求めたい。図書館についても、大学の目指す教員像を共有した上で経営し、教員になるための学びに活かしていくことを検討してほしい。
- ・理科実験室については様々に努力していることがうかがえたが、さらに小・中学校の理科実験室との連携をはかるなど、より一層の充実を期待したい。